

図書館報 みずもと

第29号
2009年10月

目次

- 学習・教育支援の
場としての図書館
(理事・附属図書館長 松山春男)
- 特集：学術論文の探し方
 - 日本語で論文を探す
 - 研究者のお助けツールScopusで
良い論文を効率よく作成しましょう
- 教員お薦めの一冊
- 開館カレンダー

「学習・教育支援の場としての図書館」

理事・附属図書館長 松山 春男



図書館は大学のキャンパスの顔です。多くの大学の図書館は、大学の門を入れて正面に位置しているか、あるいはキャンパスの中央に位置しています。室蘭工業大学の図書館はキャンパスの中央に位置し、講義棟および教育・研究棟からも気軽に行けるアクセス性の良いところにあります。

IDE 大学協会(英文名称:Institute for Development of Higher Education)が発行している「現代の高等教育」(No. 510,2009年5月号)では、「学習環境としての大学図書館」をテーマとして特集を組み、学生が主体的な学習を行える環境を大学が提供する時に、図書館を中心とした取り組みが重要である、という提案をしています。本稿では、この特集記事の要点を紹介しながら、室蘭工業大学の図書館としてどのようなことができるのかを考えてみたいと思います。

特集のねらいとして、次のようにまとめられています。「いま大学図書館は過去の知識の蓄積というこれまでの、いわば後ろむきの役割の問い直しを、強く求められています。知識生産の基盤となるのは、絶えず増大していく過去・現在の知識と情報の効率的な検索です。そこでは図書館の、情報技術を駆使した高度の専門的サポート機能に、ますます大きな期待が寄せられるようになっていきます。さらに重要になっているのは、大学教育の高度化をはかる上での、基盤的要因としての図書館の役割です。

大学教育の高度化を実現する重要なカギの一つは、学生の主体的な学習です。一人ひとりの学生が、多様なメディアを通してえられる情報や知識を活用しながら学習し、議論をたたかわし、交流を深め、知の質と水準を高めていく、そのための物理的な場所と人的なサポートの場としての図書館。そうした期待に大学図書館はいま、どのようにこたえようとしているのか。改革の最前線をとらえ、紹介したいというのが、特集の狙いです。」(注1)

大学図書館の機能として、(1) 学術機関における学術情報(知識)の蓄積と提供、(2) 場所としての図書館、があります。(1)に関して、大学の教員および学生は、電子ジャーナル他のデジタル情報資源に依存する度合いが増しており、どこでもアクセス可能なので図書館という場所に来なくても利用できる状況があります。現在の研究大学における図書館の最大の課題は、国際的な電子ジャーナルのコスト増にいかに対処するかということです。電子ジャーナル市場は、少数の国際的学術出版社が提供する寡占構造がつくられており、電子ジャーナルパッケージのライセンス販売が行われて、年々数パーセントの価格高騰があるだけでなく、新しい研究分野がつくられるにつれて、どんどん収録誌数が増えていきます。これに対して、国立大学図書館協会などい

くつかの団体が、コンソーシアムをつくって交渉を行って来ていますが、厳しい状況には変わりありません。電子ジャーナル利用は、利用する権利を年度単位で購入する契約方式ですので、冊子体の雑誌と違って、保存資料として残すことができません。だから、バックナンバーを含んだ遡及的なコレクションとするためには、さらに料金がかかります。(2)の「場所としての図書館」に関しては、最近注目されているラーニング・コモンズという考え方があります。コモンズは共有地という意味で、公的セクターと私的セクターのいずれでもない、私の領域に属するものを相互に利用し合う仕組みとして、注目されています。キャンパス内にある学習用の施設であって、そこではネットワークを通じて情報を収集したり、PCでそれを編集したり、本や論文を参照して知識を獲得したりできるほか、お互いに議論できるようなグループ学習スペースが備わっています。とくに重要なのは、個人ベースの知識や情報獲得だけでなく、グループ学習や相互交流に対応できるようにしていることと、ネットワークからの情報と本からの情報のいずれも入手できるようにしていることです。キャンパスでこうした条件をすべて備えたところは、これまでなかったから、図書館以外にも食堂、屋外のベンチや芝生、寮の談話室などが個別にそうした用途に使われていました。図書館を部分的に改造してラーニング・コモンズをつくる意義は、共同学習スペースをつくり、ネット接続のPC端末をたくさん置くだけで、比較的容易にこの目的が達成できることが挙げられます。何よりも、図書館がキャンパスの中心に置かれ、従来から大学で扱う知の全体像をカバーし、最近ではデジタル情報環境にも積極的に対応していることで、こうした機能を果たしやすいこととなります。(注2)

室蘭工業大学図書館には、1階に学生がいつでも利用できるPC機器を設置したコーナーがあります。平成20年度に、それまで2階に設置していたPC機器を1階に移動し、学生がより快適にPC機器を利用できる環境をつくりました。また、レポート

の作成時には、学生たちは閲覧室のテーブルを囲んで図書館の本を見ながら、グループでレポートの作成を行っています。平成21年度からは、学生サポートとしてピア・サポートのティーチング・アシスタント(TA)の学生が腕章を着けて図書館におり、試験準備期間中には学生の勉学に関する相談にも対応してくれるようになりました。

5月号の特集の中には、学生の学習支援に取り組んでいる大学の実例が多く紹介されています。その中の1つに、お茶の水女子大学の「学生協働サポート体制」があります。学生のボランティア・スタッフを公募して、初年次の学生の図書館利用をサポートするものです。ボランティア・スタッフは、自分自身が図書館を利用しながら、図書館の利用に慣れていない学生の質問を受けるというもので、ボランティア・スタッフ優先席の机上にバルーンを立て、「質問を受けますよ」という目印にしています。ボランティア・スタッフには、よく図書館を利用する学生が応募しているため、利用者の目線で、図書館の新しいスペースの紹介や、図書館の活用法についての「図書館だより」を作成してもらっているそうです。

本学の図書館でも、他大学の良いところを参考にさせていただき、「学習支援」や「教育支援」の場としての図書館をつくる取組をしていきたいと考えています。今後とも、図書館を積極的に利用していただくとともに、ご利用上のご意見、ご希望を私および図書館職員にお寄せくださいますようお願いいたします。

(注)

- 1) IDE 大学協会(英文名称: Institute for Development of Higher Education)が発行している「現代の高等教育」(No. 510, 2009年5月号)の特集のテーマからの引用。
- 2) 根本彰「大学の図書館の新しい見方」『現代の高等教育』(No. 510, 2009年5月号)からの引用。

特集：学術論文の探し方

3・4年生はこれから研究を行い、卒業論文を書くこととなります。大抵の研究は今までの研究成果の上に成り立って行われるので、研究に必要な学術情報、学術論文を探ることができるようになる必要があります。この特集では学術論文の探し方について説明します。

文献検索を行う意義 何のために学術情報を探すのか

- ・研究テーマの知識を深める。
- ・先行研究を知る。
 - －内容の重複を避ける。
 - －既知の方法を知る事で効率よく実験を行う。

日本語で学術論文を探す
→CiNii、JDream II
海外の学術論文を探す
→Scopus(5 ページ～)

日本語で論文を探す

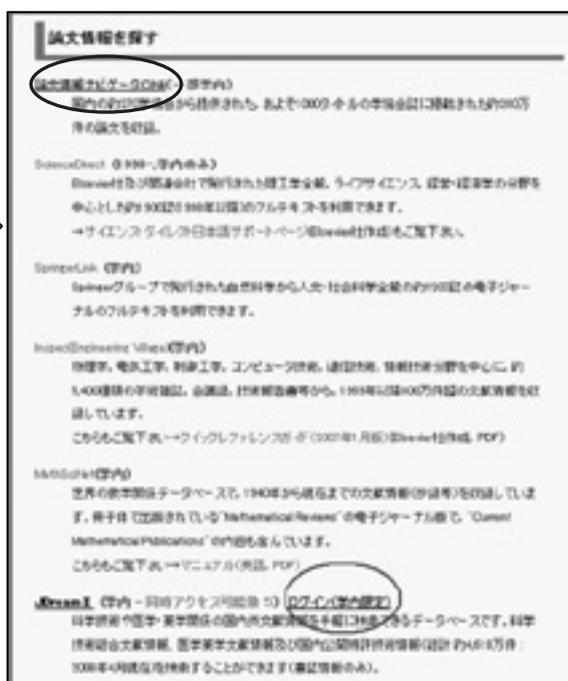
日本語で検索できる論文検索データベース

- ◆ CiNii
- ◆ JDream II

- ・インターネット上で利用
- ・論文名、キーワード、著者などから論文情報を検索

※蔵書検索システム OPAC や電子ジャーナルリストでは、テーマや論文名から論文を探すことはできません。

データベースとは…
様々な目的を考慮して整理整頓されたデータの集まりです。
目的によって適切なデータベースは違ってきます。



利用方法 附属図書館 HP から行くには…
図書館 HP → 本や雑誌、学術情報を探す →
論文情報を探す → 論文情報ナビゲータ CiNii
→ JDream II ログイン(学内限定)

CiNii

日本の学術論文を中心とした論文情報のデータベース・サービス。

検索対象: 学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報。

※無料一般公開されている論文もあり、利用登録なしに誰でも検索できます。有料公開の論文については、大学で契約しているものは学内で見られません。

検索方法はクイックガイド↓

<http://ci.nii.ac.jp/info/ja/quickguide.html>



利用方法

図書館 HP→本や雑誌、学術情報を探す→論文情報を探す→Cinii

* Google で Cinii と検索するとすぐにできます。

J Dream II

学内限定

科学技術や医学・薬学関係の国内外文献情報を検索できるデータベース。

検索対象: 学協会誌(ジャーナル)、会議・論文集/予稿集、企業技報、公共資料など。

○ポイント○

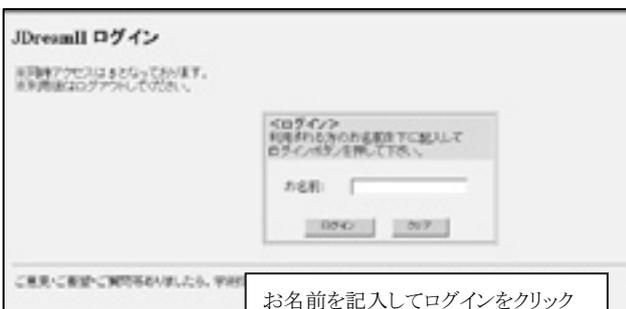
外国語文献も日本語で内容を知ることができます。

検索ガイド/オンラインヘルプ↓

<http://pr.jst.go.jp/jdream2/manual.html>



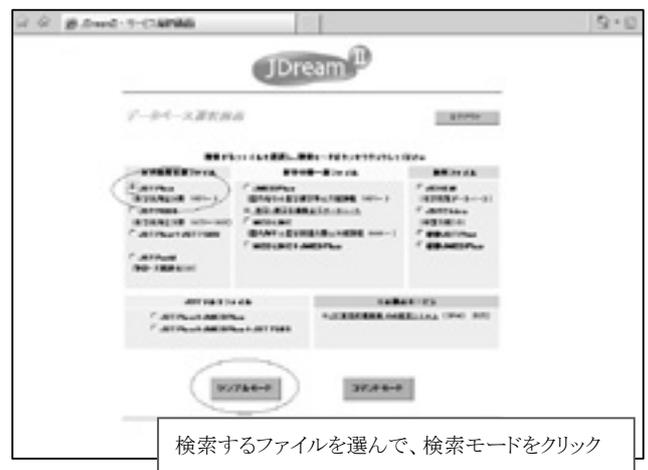
検索画面



お名前を記入してログインをクリック

利用方法 利用は学内限定で同時に5ログインまで

図書館 HP→本や雑誌、学術情報を探す→論文情報を探す→ログイン(学内限定)



検索するファイルを選んで、検索モードをクリック

研究者のお助けツール Scopus で、 良い論文を効率よく作成しましょう

Scopus とはー世界最大規模の書誌・引用データベース

平成 21 年 4 月から本学に導入された Scopus(スコーパス)をご紹介します。その最大の特徴は、データカバーが広範囲であることです。その対象となるのは下記のとおりです。

- ・ 分野:科学・技術・医学・社会科学・人文科学分野
- ・ 世界 5,000 以上の出版社の 18,000 誌以上のジャーナル
- ・ 1800 年代からの抄録データと 1996 年以降の参考文献
- ・ 冊子体発行前論文(Articles in Press)ーNature, Elsevier, Springer 等
- ・ 科学に特化した Web 情報ー大学・研究機関・著者ホームページ, プレプリントサーバ, 機関リポジトリ
- ・ 特許情報(世界知的所有権機関, 特許庁(米国, ヨーロッパ, 英国, 日本))

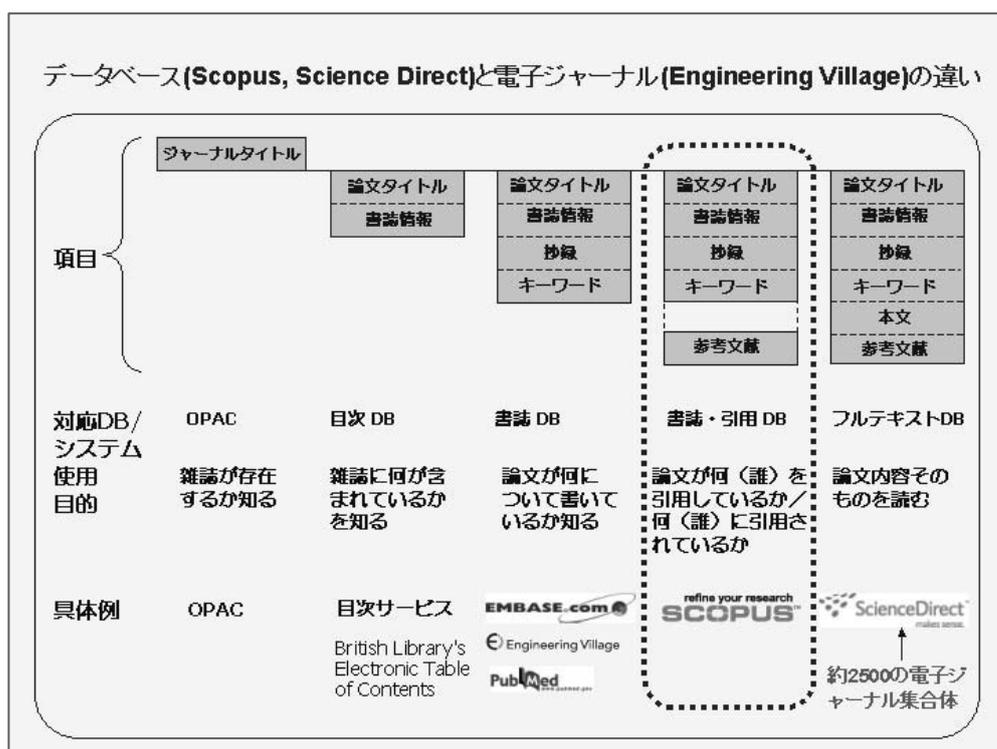
どこが違うか?

それでは、すでにお使いいただいている *Engineering Village* や *Science Direct* とどこが違うのでしょうか?

Engineering Village も強力な検索機能を持つデータベースで論文の抄録によりその内容を知ると共に論文の Full-text へのリンクも機能も持っていますが、その論文が引用した参考文献やその論文が引用された論文へのリンクはできません。

Science Direct は、電子ジャーナルですが科学・技術・医学・社会科学分野を網羅する約 2,500 誌の集まりなので *Science Direct* 内のデータベースでもあります。

Scopus は、抄録に加えて参考文献(論文が何を引用しているか)や引用文献(論文が何に引用されているか)情報へリンクしていけるのが特徴です。



Google Scholar との違い

無料データベースの Google Scholar も研究者から支持を集めています。査読雑誌よりもオープンアクセス文献(会議録, テクニカルレポート, 学位論文などを含む)の検索に優位であると言われてはいますが, データの収録基準を公開していないため選定基準が明確ではありません。また, 被引用文献表示は可能ですが, 参考文献表示はできません。しかし, 強力な学術文献収集ツールですから Google Scholar と Scopus を併用すると情報収集効果を高めることができます。

良い論文を書くために Scopus を使う

それでは, “良い論文を書く”ために Scopus を使ってみましょう。

1. 質の高い関連論文を探す

Basic Search で検索してみましょう。キーワード, 論文タイトル, ジャーナルタイトルなど検索対象項目を選ぶことができます。キーワード“ips cell”を入力して検索  してみます。(図1)

Refine Results : 検索されたデータを重要な雑誌, 特定の著者などに限って絞り込むことができます。(図2) Source Title や Author Name の左横のボックスにチェックを入れて,

 (そのデータを残す)

 (そのデータを除く)を実行します。

質の高い論文を探す

→被引用件数の高い順に並び替える。

(図2 Cited by をクリックする)

論文の引用回数が多い論文が必ずしも優れた論文とは限りませんが(本当に独創的な論文は, 読みにくいことが多い。註1), やはり先行研究で多く言及された被引用件数の高い論文は, この研究テーマで研究する際, 読んでおかなければならない。これから書く自分の研究論文の参考文献に含める必要性の高い論文として注目することができます。

註1) フェデリコ・ロージ, テューダー・ジョンストン: 科学者として生き残る方法, 高橋さきの訳, 日経 BP 社, 2008, p135

図 1



図 2



2. 抄録と参考文献を見る 図3

参考文献: Refereces のエリアでこの研究が過去にどのように行われてきたかを知ることができ、元になった研究へリンクすることができます。

引用文献:画面右上の Cited by since 1996 では、この論文を1996年以降に引用している論文数と最新の2件が表示されています。引用文献をたどっていくことにより、この論文がいかに発展していったかを確認することができます。また、世界の特許での引用数やその特許情報も見ることができます。

このように Scopus は、過去から未来の時間軸を追って関連文献を探す強力な引用機能を持っています。

あなたは、今までこれらの作業にどれだけの時間を費やしていましたか？

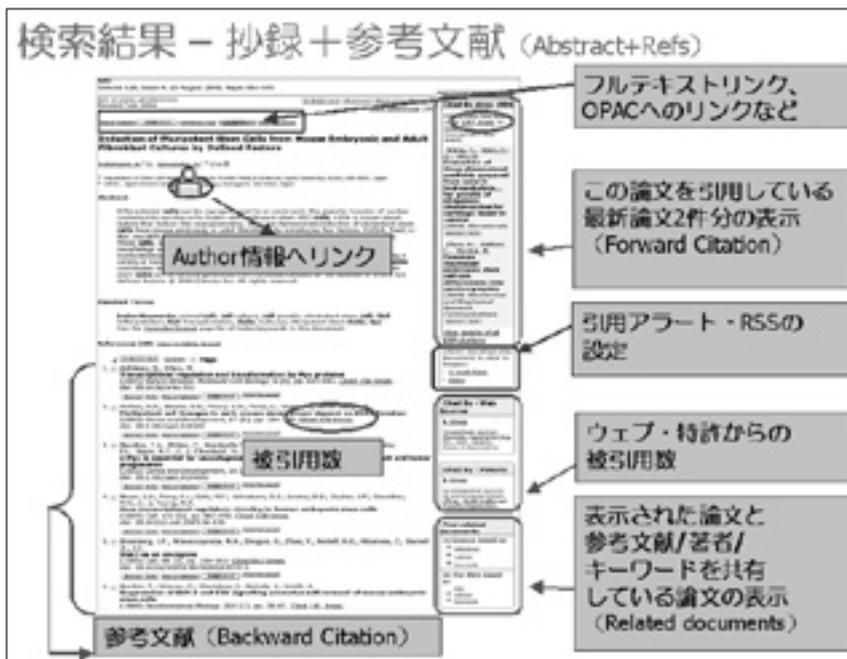


図3:抄録と参考文献の見方

3. 関連論文を収集して多読する

PDF一括ダウンロード機能で収集しておいて後で時間ができた時によむ、あるいは、読みたい論文リストを Scopus 上の My List に保存(要ユーザ登録)しておいて後から見ることができます。



図4 論文 Full Text を見る



読みたい論文を本学で購入している場合や Open Access の場合、この画面がです。

電子ジャーナルリスト

蔵書検索 (OPAC) | 電子ジャーナルリスト Topへ

言語を選択

検索中の論文:
 著者名 Takahashi, K.
 論文タイトル Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors
 ジャーナルタイトル Cell
 Volume 126 Issue 4 出版日 2006 ページ 663-676

Cell (1996-) Free Medical Journalsでアクセス可 CrossRef経由でこの論文へのリンクがあります。	このタイトルを見る	フルテキスト: Free until 1 year ago	OPEN ACCESS
Cell Elsevier ScienceDirectでアクセス可 CrossRef経由でこの論文へのリンクがあります。	このタイトルを見る	フルテキスト: 1995-01-13 - 1 year ago (v80 if -)	OPEN ACCESS

他の所蔵情報を調べる: Cell

- 蔵書検索(OPAC)で所蔵を調べる
- この著者名で検索する: Takahashi, K. (Google Scholar で検索する)
- この論文タイトルで検索する: Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors (Google Scholar で検索する)

他のリンク

- Endnote, ProCiteに書誌情報をエクスポートする
- Refworksに書誌情報をエクスポートする

宝島工業大学附属図書館
www.lib.tokai-u.ac.jp

ト
リスト Topへ

言語を選択

読みたい論文を
本学で購入していない場合
文献複写申込画面へリンクして他大学
から取り寄せることができます。→

4. ユーザ登録をして各種アラートにより研究の最新動向をチェックする



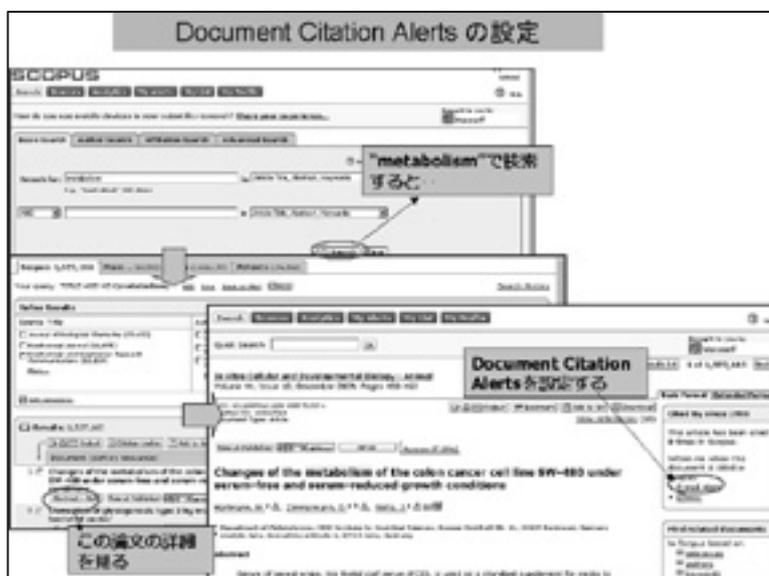
以下のアラート機能を利用して研究の最新動向を常にチェックすることができます。これらの機能と上記3.My List を利用するためには、ユーザ登録をします。

Search Alerts

一度検索したのと同じ検索条件の最新論文情報が Scopus に収録されると自動的に電子メールで知らせてくれます。

Document Citation Alerts

ある論文が Scopus 上の他の論文に新たに引用された時に自動的に電子メールで知らせてくれます。あなたの論文が世界の見知らぬ研究者に引用されたことを知ることができます。



Author Citation Alerts

ある著者が新たに文献を発表した時に
電子メールで知らせてくれます。

投稿するジャーナルを選ぶ

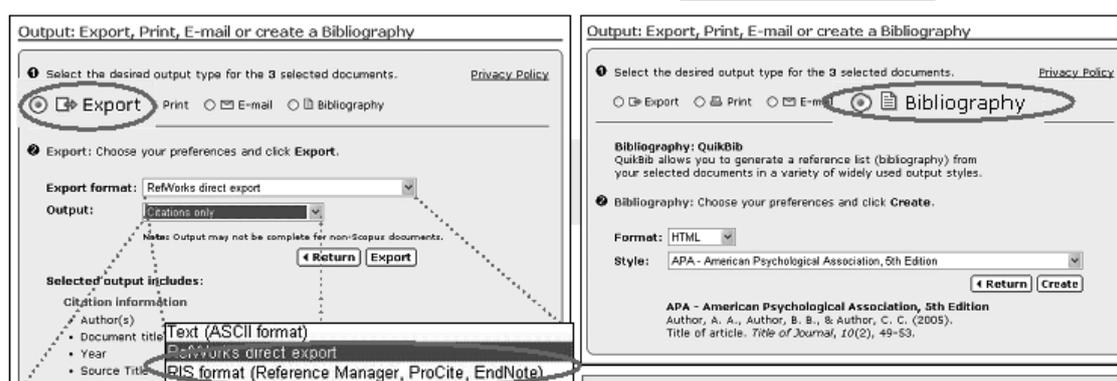
ある研究テーマによる Basic Search 結果から論文数の多い複数のジャーナルを論文投稿先の候補にして
比較検討することができます。

論文を効率よく執筆するために

Scopus から出力した文献情報を RefWorks や EndNote などの引用管理ソフトウェアで管理し、論文投稿時に要求される記述形式で引用リストを作成することができます。論文作成がもっと効率よく行われることでしょう。

RefWorks, EndNote への出力

【操作手順】 ①検索結果画面→②論文にチェック 1. ③    Output



出力する形式を指定

出力する内容を指定

Quickbib機能：論文執筆時に必要な、参考文献の記述形式の代表的な形式に則ったフォーマットにて出力可能

おわりに

学術雑誌の電子ジャーナル化が研究者の論文の検索・入手・利用行動にもたらす変化についての調査結果(註2)によるとこの 30 年間で特に学術雑誌論文の「読み」についての変化として、

- 1) 読む論文数が増えた一方で 1 論文あたりに費やす読みの時間は減少したこと、
- 2) 著者のホームページなど論文の入手先が増えたことなどがあげられています。

また、電子ジャーナルの普及によって変化しないこととして、

- 1) 学術雑誌論文は依然として重要な情報源であること、
- 2) 多くの論文を少ない時間で読むようになっても、1 件 1 件の論文に向ける注意は高いことが挙げられています。つまり、研究者にとって学術雑誌論文の重要であることに変わりはないが、利用行動は変化しているようです。ご紹介した Scopus がとてもお忙しいあなたの論文作成ワークフローに良い変化をもたらしてくれることを願ってやみません。

註2) Tenopir, C., King, D. W., Edwards, S., Wu, L. Electronic journals and changes in scholarly article seeking and reading patterns. *Aslib Proceedings*. 2009, vol.61, no.1, p.5-32.

この記事は図書館 HP にカラーで公開しています。

URL : <http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/scopus/>



教員お薦めの一冊

室工大の先生から、学生へお薦めの図書を紹介していただきました。

図書館で所蔵していますので、どうぞご利用ください。所蔵のないものは購入予定です。

金属学への招待

幸田成康著 アグネ技術センター 1998

文＝境 昌宏（もの創造系領域）

「転移」, 「時効硬化」, 「結晶粒界」など金属物理学に関するとっつきにくい内容を対話形式で解説。著者の幸田成康氏は金属物理学の第一人者であるが、明治の文豪幸田露伴と血縁関係にあり、その先生が書く文章は平易ながら洒落で一読の価値有り。金属学を学ぶ材料系、機械系の学生におすすめ。



強さの秘密 なぜあなたは床を突き抜けて落ちないか

J.E.ゴードン著；土井恒成訳 丸善 1999

文＝境 昌宏（もの創造系領域）

「なぜモノは壊れるのか？」の根本的な疑問に対して、丁寧かつ真摯に解説した名著。読み物形式で書かれているが、材料力学を学ぶ際に必要なエッセンスがすべて網羅されていると言っても過言ではない。機械系、材料系、建築系など材料を扱う学生全てにおすすめ。



構造の世界 なぜ物体は崩れ落ちないでいられるか

J. E. ゴードン著；石川広三訳 丸善 1991

文＝境 昌宏（もの創造系領域）

「強さの秘密 なぜあなたは床を突き抜けて落ちないか」の姉妹書。この本では材料力学で学ぶ「引張り・圧縮」, 「せん断」, 「ねじり」などの外力でなぜものが壊れるのかをアーチ、橋、ダムなどの具体的構造物を例に解説。材料力学をより深く学びたい人はぜひ一読を。



配架場所: 1F 一般図書

請求記号: 501.34/G67

田村隆一（現代詩読本）

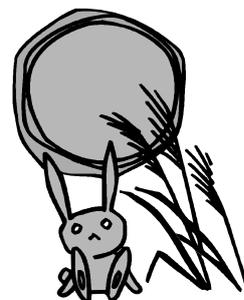
思潮社 2000

文＝森 れい（ひと文化系領域・非常勤講師）

言葉と思考の原理・詩の生まれる条件など、実作者としての提言が豊富である。



教員お薦めの一冊



鳥と飛行機どこがちがうか 飛行の科学入門

ヘンク・テネケス著；高橋健次訳 草思社 1999

文＝境 昌宏（もの創造系領域）

「この本は、ある航空宇宙工学の助教授による復讐として書かれたものである。」というセンセーショナルな書き出しで始まる本著は、飛行に関する重要な概念を分かりやすく解説したものだ。鳥と飛行機という空を飛ぶ代表的二者を例に、揚力や抗力の説明が平易に行われている。著者自身による鳥の挿絵も美しく必見。数式も出てくるが算数レベルであり、理系の学生だけでなく文系の学生にもおすすめ。



配架場所：1F 一般図書

請求記号：538.1/Te37

読むクスリ

上前淳一郎著 文藝春秋 1984- 37冊

文＝境 昌宏（もの創造系領域）

元新聞記者が描く企業版のちょっといい話が満載。タイトルの「クスリ」には「クスリと笑えてためになる」の意味が込められており、もの作りやサービス業の第一線で活躍している人が語る話が2～3ページを1話として紹介されていて肩肘張らずに読むことが出来る。勉学や研究を進める上でもヒントになるエピソードが多数。特に就活中の学生にはおすすめで、日本には小さくてもすばらしい会社がたくさんあることが認識できます。

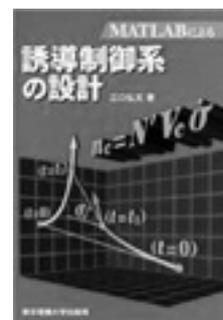


MATLABによる誘導制御系の設計

江口弘文著 東京電機大学出版局 2004

文＝湊 亮二郎（もの創造系領域）

制御工学の専門書や教科書はいろいろありますが、航空宇宙工学における誘導制御を扱った本はあまり多くありません。航空宇宙工学における制御問題には他分野ではあまり見られないダイナミックな制御を扱いますが、本書は飛翔体の誘導制御問題の教科書として最適に思われます。制御工学の具体的な応用を扱っているので、制御工学をより深く勉強するのにも良いかもしれません。



配架場所：1F 一般図書

請求記号：548.31/E33

基幹物理学 こつこつと学ぶ人のためのテキスト

星崎憲夫, 町田茂著 てらべいあ 2008

文=高野英明 (しくみ情報系領域)

第1部の古典物理学では力学, 熱学, 振動と波動, 電磁気学, 相対性理論を, 第2部の量子物理学入門では量子力学入門, 変換理論, 場の量子論などを扱っているバイブル的な教科書です。これ1冊あれば, いわゆる教養課程の物理では他の参考書は必要ないです。総ページ数が1145ページとなっており, 読むことにくじけてしまいそうですが, 懇切丁寧に書かれており, 分かりやすい内容となっています。



配架場所: 1F 一般図書

請求記号: 420/H92

直感でつかむ大学生の微積分

村上仙瑞著 東京図書 2007

文=石渡 通徳 (ひと文化系領域)

本書は大学生初年度級の微積分(本学講義では解析A, 解析B, 解析C)の参考書である。高校である程度数学が得意であったのに, 大学に入ると数学の講義の様子が高校とは異なっていて困惑する学生も多いと思うが, これは高校までと大学での数学の立場の違いによるものである。高校までの数学では, おそらく多くの公式を能率よく運用できる能力がもっとも要求されたことであろう。大学の数学を理解するためには, 公式の運用と同時に「内容の直観的理解」が必要になる。高校数学ではあまり重視されない「微積分の直観的意味」を, 必要なら高校の内容まで立ち戻って詳しく解説したのが本書である。大学の講義ではよく理解できなかった場合にぜひ参考にしてほしい本である。本書を参考にすることにより, 微積分が「公式の運用」にとどまらず, 実は深い意味の世界を持つことに気づけば幸いである。



配架場所: 1F シラバス

請求記号:

413.3/Mu43/シラバス

形と動きの数理 工学の道具としての幾何学

杉原厚吉著 東京大学出版会 2006

文=高橋 雅朋 (ひと文化系領域)

本書は, 著者が講義した内容を収めた短編集形式である。第1部は「形と動きを理解する」と題して, 5つの小編があり, 第2部は「形と動きを作りだす」と題して, 8つの小編がある。いずれの話題も副題にあるように, 特に幾何学を用いた数理工学に関してのお話である。図が豊富にあるので内容は分からなくても図を見ているだけでも楽しめるし, 身近にある「形」を研究するために, どのように数学を使うのかを垣間見られる本ではないだろうか。数学を使い, 論理的・定性的に物事を研究することは工学からでも必要であろう。なぜ数学が必要なのか, なぜ数学を学ばなければいけないのか, なぜ微積や線形が必要なのか, 本書を眺めながら考えてみるのも良いかもしれない。



平成21年度後期 図書館開館カレンダー

2009年

	日	月	火	水	木	金	土
10月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

	日	月	火	水	木	金	土
11月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

	日	月	火	水	木	金	土
12月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

2010年

	日	月	火	水	木	金	土
1月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

	日	月	火	水	木	金	土
2月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28						

	日	月	火	水	木	金	土
3月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

開館時間	無地	9:00 ~ 21:00	授業期の月～金曜日 試験期の月～金曜日 試験期の土日・祝日
		9:00 ~ 17:00	休業期の月～金曜日
		10:00 ~ 17:00	土曜日・日曜日
			休館日

編集発行 室蘭工業大学附属図書館
 〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号
 TEL : 0143-46-5189 FAX : 0143-46-5196
 URL : <http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/>